

7. 庄内西公民分館への「魅力ある学校づくり構想」の説明会・質疑応答（概要）

○日 時：平成 28 年 4 月 19 日（火）20 時～

○場 所：庄内西コミュニティルーム（庄内西小学校内）

質問・意見等	豊中市からの回答
<p>庄内西地区から千成や庄内南へは通学距離が長く、安全な通学路も確保されていない。通学路の検討と並行して、安全対策について道路管理者や交通管理者と協議すべきである。</p>	<p>庄内西小学校区の子どもの通学距離は、仮開校の際、庄内南小学校へ通う場合は最長距離で約 1.3km、開校後、千成小学校へ通う場合は最長距離で約 1.6km と想定しています。現時点では何も決まっていないため、地図上で調べた程度ですが、今後は具体的な通学経路も示しながら検討する必要があると考えています。安全確保につきましては、その対策を関係部局等と協議・検討しながら取り組む必要があると認識しております。</p>
<p>このような通学環境では、子どもたちを学校に通わせたくなくなる。親が不安にならない案でなければ、地区住民は納得しない。</p>	<p>豊中市では、小学校区ごとに通学路を定め、定期的に安全面の点検をしています。具体的な通学経路については、現在の通学路を基本とし、新たに利用することになる経路についての検討が必要となります。今後、通学に係る安全確保につきましては、関係部局と協議・検討しながら取り組む必要があると認識しております。</p>
<p>小規模校には、先生が目が見届くメリットがある。学校再編よりも、インフラを整備して、ファミリー層が集まってくるまちづくりが優先である。</p>	<p>小規模校の良さを否定しているわけではありません。子どもたちにとって、現状をそのまま維持していくことが、本当に良いのかということ考えた時に、どこかのタイミングで改革しなければならないと考えています。今、（仮称）南部コラボセンター構想の動きがある中、地域全体を教育やまちづくり等の観点から、改革していきたいという思いをもっています。このタイミングを逃すと、次のチャンスは当分ないと考えています。</p>
<p>庄内西地区では、地域活動が活発で先生とのつながりも強く、近隣地区とのネットワークもしっかりしている。現状を残してほしい。単に、学校施設を一体化するだけでは意味がない。</p>	<p>庄内西地区だけではなく、庄内地区全体として、小規模校化の課題、通学区域（分割校・調整区域）の課題、生活・学習課題を抱えていると認識しています。その解決の一方策として、「魅力ある学校」づくり構想を提案しました。庄内西小学校が地域の方々とつながり、様々な面でご協力いただいていることは知っていますが、このままでは解決できない課題があることも事実です。課題を解決するための抜本的な解決策として、学校再編によって学校規模を大きくし、全国で取り組まれ、様々な教育的課題に対して成果をあげている小中一貫教育を推進することなどを柱とした案を提示したものです。</p>

<p>庄内西地区は豊中市の南西端にあるが、歴史が深いところである。庄内西地区に目を向けて、住民が増える施策を展開してほしい。</p>	<p>まちづくりの観点になりますので、市長部局の担当部署に地域の声を伝え、ともに検討を進めます。</p>
<p>庄内西小学校ができた経緯は、地元の人たちからの土地の寄付である。大切な経緯を知ってほしい。</p>	<p>庄内西小学校ができた経緯については承知していますが、より詳しく知り、理解を深めたいと考えています。</p>
<p>現状の 2 案に固執することなく、今後も地区住民との意見交換を通して検討を進めてほしい。</p>	<p>今回、お示ししている 2 案はすでに決まったものではありません。保護者や地域の方々等、できるだけ多くの方の意見をいただきながら、新しい学校を作っていきたいと考えております。</p>